

2016年1月4日

2016年 年頭の辞

本メッセージは、社長 柄澤 康喜から当社の全社員に向けて発信するものです。

全国の皆さん、そして海外の皆さん、明けましておめでとうございます。

1. 2015年を振り返って

昨年を振り返りますと、世界経済は好調な米国経済が牽引役を果たしましたが、中国経済の減速、原油価格の低迷等が新興国や資源国に深刻な影響を与えました。また、先日発表された米国の政策金利の引き上げが景気のブレーキとなるおそれもあり、依然として不透明な状況が続いています。

一方で、国内経済は、そうした世界経済の影響を受けつつも、日銀による金融緩和政策が続くなか、円安による輸出企業の業績回復や設備投資の持ち直し、インバウンド消費の拡大等により、緩やかな回復基調を維持しました。

こうした環境のもと、MS & ADインシュアランス グループの上期決算は、正味収入保険料が過去最高を更新し、純利益も860億円となりました。2015年は、わが国にとっても、当社にとっても、飛躍に向けた準備期間とも言える1年でした。引き続き、官民が一体となって実態経済の回復を実現していくことで、デフレ脱却に向けた力強い成長軌道が見えてくるものと確信しています。

2. 2016年の抱負

今年の干支は、「丙申（ひのえさる）」です。「ひのえ」には、物事が明らかになるという意味が、「さる」には、果実が成熟して固まっていく、という意味があります。つまり、「これまでの頑張りが目に見える形で現れてくる年」と言えます。

2016年は、中期経営計画「Next Challenge 2017」のステージ2のスタートです。収益力向上、機能別再編、アムリン社の買収など、私たちがステージ1でまいた種を大きく育て、必ず形ある成果に結びつけていきましょう。

さて、今年10月に、三井住友海上は創立15周年を迎えます。2001年10月の創立時から、連結ベースの正味収入保険料は約2倍、社員数は約1.5倍になりました。アムリン社の合併により、今後、規模はさらに大きくなります。今こそ、皆さん一人ひとりが、MS & ADインシュアランス グループの存在意義であるミッション、グループの目指す姿であるビジョンを再認識してください。

そして、グループが一体になるために何より重要なのは、全世界の社員が「お客さま第一」「誠実」「チームワーク」「革新」「プロフェッショナリズム」の5つのバリューを同じ目線で共有することです。ミッション・ビジョン・バリューを常に胸に刻んで、さらなる飛躍を目指しましょう。

3. 結びに

当社とMS&ADグループのさらなる飛躍には、ミッション・ビジョン・バリューに加えて、変化に対応していく豊かで柔軟な想像力が欠かせません。歴史作家である塩野七生さんは、その著書の中で「想像力は筋肉に似て、鍛えないと劣化する」と述べています。今年、リオデジャネイロ・オリンピックが開催されます。当社の選手もオリンピックにおける世界レベルの活躍を想像して日々鍛錬を重ねていることでしょう。

皆さんも、新年を迎え気持ちを新たに、自らの在りたい姿に近づくために何をすべきなのか、その先に会社のどのような未来があるのかを常に想像してください。そして、想像したものを形にするための努力を続けてほしいと思います。皆さん一人ひとりの鍛えられた想像力こそが、当社の目指す「世界トップ水準の保険・金融グループ」を実現するための原動力になるはずです。

最後に、皆さんとご家族のご繁栄とご健康を祈念して、私の新年のメッセージとします。

以 上